

ディーン・リーパー氏召天50周年記念 ~ Peace Caravan / 全国YMCA平和の旅 ~

ご子息スティーブ・リーパーと世界の青年たち

「いのちの大切さ」を訴え

1954年9月26日、当時アメリカYMCAから学生YMCAの協力主事として派遣されていたリーパー氏は、北海道での集会を終えて、仙台に向かう青函連絡船(洞爺丸)で台風に見舞われ、乗

客・乗員1155名が死亡するというわが国海難史上最大の惨事の中、33歳の若さで亡くなりました。三浦綾子の小説「氷点」「続氷点」の中でも、自らの救命具を他の乗客に譲って死んでいった外

大阪の日程	
9月12日(日)「平和講演会」	13:30~16:30 日本キリスト教団豊中教会 (北Y主管)
9月13日(月)~15日(水)	国際専門学校 セブテンパーセミナー参加
9月16日(木)	大阪YMCAスタッフ礼拝
9月16日(木)「平和講演会」	18:30~20:30 カトリック堺教会 (堺Y主管)

国入宣教師がいたことについて、命を与えてまで人に仕える人として、その生き方を問うています。そのリーパー氏のご子息スティーブ・リーパー氏を団長に「平和文化の構築」と「いのちの大切さ」を訴えながら、世界の青年たちアメリカ、インド、スリランカ、パレスチナ、イスラエルから参加)が全国16カ所のYMCAを訪問します。大阪の日程は、上記のようになっています。講演会へはどなたでもご参加いただけますので、世界の友と一緒に平和について考え、祈りましょう。

会場を盛り上げた一体感

北YMCA 『障がい者・児および家族ボウリング大会』



7月19日(月・祝)に『障がい者・児および家族ボウリング大会』が開催され、参加者33名・ボランティア63名が集まりました。

今年で7回目を迎える今大会には、顔なじみの参加者とボランティアの方々に加え、高校生や大学生など多くの新しい、若いボランティアの方々

が参加されました。これまでの大会は、参加者がボウリングをし、その補助をボランティアの方が行う個人戦のみでしたが、今大会からの新しい試みとして、レイン対抗団体戦を行いました。この団体戦は、参加者とボランティアの方でチームを編成し、交互に投げてみながら1つのスコアを出すというものです。ピンがたくさん倒れてチームみんなで喜ぶ姿や、時には参加者がボランティアの方に投げ方を教えてあげるといった光景も見られました。参加者もボランティアもみなさん

が同じ立場・目線に立つてお互いを応援し、協力し合うことで各チームに一体感が生まれ、会場が大きく盛り上がっていました。この団体戦に関しては、継続的に参加されている方からも「参加者とボランティアが力を合わせることでできてよかった」という言葉をいただきました。ボウリングというスポーツを通して、関わる全ての人が共に楽しみ、喜びを分かち合えるということを感じることができました。(菅田 齊・北YMCAスタッフ)



第114回 日本YMCA 同盟委員会にて25年継続会員賞を受賞された今井利子さん。YMCAとの関わりやご自身についてお話を伺いしました。

河内長野市で市民活動に長年携わり、そこで知り合われた方に誘われて長野ワイズメンズクラブの創立メンバーとして28年前に参加し、その3年後にYMCAの会員となられました。現在はまだのしまワイズメンズクラブのメンバーでいらっ

「ボラン ティアをしようという気負いは全く無く、小さいころからみんなの喜び顔を見るのが好きでした。戦争のために十分な勉強ができなかったので、人のためというより自分の勉強のために活動しています。外に出ると知らないことがたくさん



25年継続会員賞受賞
今井 利子さん
継続するのも大事だが
引き継ぐことも大事です

と今井さんはおっしゃいます。病気で耳が聞こえづらくなつてからは、講演会等はなるべく前の席を確保されているそうです。自分で努力しないと仕方がない！できる時に

分の持っているものをやがらあつて、その中に『話を聞いてもらいたい』というのがあります。これからは、『聞く』というのを心掛けていきたいと思っています。そして自分の持っているものをや

イズメンズクラブ第7回西日本区大会で個人賞を受賞されました。また保健婦をされていた経験を生かして、サンホームの入所選考委員会の委員として活躍いただいています。

「頑張らな！」と明るくおっしゃる今井さんのモットーは、「前向き」だそうです。

「シニアキャンプに参加した時に自分が人に与える印象について聞く機会

さしくお伝えできればなと思えます。継続すること大事ですが、引き継ぐことも大事です。上手に引き継いで、それに若い人たちの新しい発想が加わっていくのが理想ですね」と今後のことを語ってくださいました。

今年もYMCA松尾台幼稚園恒例の『ごどもまつり』が神様の見守りの中、例年より約1カ月前(7月17日(土))に開催されました。ごどもまつりには保護者会のみならずが中心となり、各クラスで出し物を考え、その仕入れから店の飾り付けまで1カ月以上かけて準備されました。子どもも保育時間に保護者の方々も通園(園)され、大変だつたらうと思えますが、みなさん、上手に時間をやりくりされ、とても楽し

そつに、かつ真剣に取り組まれました。楽しいお店あり、美味しい食べ物あり、それぞれのクラス

顔、そばでにこやかな表情のおうちの方々、活気に溢れたお店、この一体感が『ごどもまつり』だなと感じます。本当にたくさんの方々に支えられ無事に終えられましたことに感謝をいたします。また、来年が楽しみですよ。(河合美保・YMCA松尾台幼稚園副園長)

